

蒲原健康まつり

好天に恵まれ四五〇人が楽しむ

銭太鼓・シャンソン・フラダンス・模擬店・年金相談等

去る、10月27日(日)、「第27回蒲原健康まつり」が蒲原診療所の屋内と駐車場を使って行われ450人が参加しました。

この日は天気予報で台風の直撃も予想されましたが「皆さんの日頃の行いが良かった」せいで朝から秋晴の好天気になりました。



来賓のあいさつは区議会議員で友の会かばら支部の役員でもある秦野昭彦さんです。「綾瀬駅に念願のエレベーターが設置された」報告と共に秦野区議は東綾瀬公園跡地に建つ特養ホームや保育園のことにふれ、希望者が多いにもかかわらず足立区では待機者が大勢いて、まだまだ充足していない現状を区民の皆さんと変えて行きたい、と述べた。足立区が1千億円以上ため込んでいる税金を有効に区民のために使うよう一緒に区に働きかけていきましょと訴え

ました。

演芸のプログラム最初は恒例になった桜遊会の銭太鼓や南京玉すだれです。威勢の良い太鼓のリズムに乗って踊る様はオープニングを飾る大事な演目になっています。

次に登場したのはシャンソンの馬越さんによるしびれるような歌声と語りです。会場の皆さんは耳を澄まして聴きほれていました。フラ・オハナの皆さんによるフラダンスも見ものでした。綺麗な舞台衣装で踊る姿もあてやかさを感じさせます。常日頃の稽古の積み重ねが良く舞台に出ていました。

最後は歌声サークル「こもれび」による合唱でした。そして昼食をはさみ、午後の部で「こもれび」のみなさんを中心に「創立50周年・30周年」を



んご、しののめ会の担当したフランクフルト、新婦人が取り組んだバザー会場もそれぞれ引きをしながら、笑顔がたえないやり取りの光景が見られました。

祝「歌声喫茶」に引き継がれました。この時、会場の待合室はほぼ満席になり、立ちながら合唱に加わる人も出ました。みなさんが心行くまで歌った後は「お楽しみ抽選会」が待っています。かばらデイサービスに勤める職員のお子さんたちが抽選券を箱から引き出し、当たり番号を発表していきます。その度に笑い声やため息が待合室を包みました。

一方、模擬店会場ではおなじみの診療所職員が作る「焼きそば」。その隣では診療所裏手の山恵園の若手が作る「カレーライス」

そして蒲原ビルの清掃担当している職員で恒例の「トン汁」、どれもこれも美味しいものばかり、「食欲の秋でまた、体重が増えそう」と心配顔をしながら次々、口にほうばっています。また、歯科や薬局のグッズ売り場、り

いつも大勢の地域の人から人気のある「包丁研ぎ」は今年も盛況でした。土建組合綾瀬分会の有志が毎年、ボランティアで取り組んでもらっているもので、「年1回の包丁を研いでもらうのが何より楽しみにしている」と言う人も多く見受けられます。土建の有志のみなさんは最後のテントの撤去まで奮闘していたいただきました。玄関前のピロティでは「おもちゃの病院」も開院。トイドクターズが汗を流して、こわれたおもちゃの修理にあたりました。また、今年から「年金者組合」相談コーナー、誰でも参加できる「囲碁・将棋」コーナーが行われました。綾瀬訪問看護ステーションの看護師の皆さんが担当した「健康相談コーナー」にも健康チェックを受ける人、病気についての質問など多くの人が訪れました。

この健康まつりで新たに2人の友の会入会がありました。

健康まつり実行委員会

房総方面へのバス旅行
期日変更
3月2日予定です

私のトルコ出張の思い出

カリフォルニア米は日本米と変わらなかつた TPP加盟で日本米を守れるか!

トルコへ出張したのは、もう20年も前になりますが、トルコへの直行便はなく、ドイツのフランクフルト空港で乗り換えてトルコへ行かなくてはなら私のトルコ出張の思い出、トルコのイスタンブールは夜の11時着なので1泊して翌日、黒海（地中海の反対側）沿いにある「エレリーロジマン」という街に車で4時間をかけ（平均時速80Km）着いた。イスタンブールと首都アンカラとの中間ぐらいの所だつた。エレリーには製鉄所があり高炉を増設したので酸素

分離プラントが必要でそのプラントに付随する低温タービンの指導に行ったのです。空気は低温にするとすべて液体になるのですが、酸素はマイナス183度、窒素は195度で液化し最低温度で液化するのは「ヘリウム」でマイナス269度です。その為には膨張タービンを1分間で3万回転ぐらいを必要としていて、私はそのタービン装置の担当として行き2ヶ月半に渡って出張をしたのです。

トルコはイスラム圏ですが、酒類はオープンでビールはドイツビール、イギリスビール、フランスビール等々ありましたが、トルコには焼酎のような「ラク酒」というのがあります。その度数も40度以上は有り、その強い酒に水を入れると透明な酒が「白くにごる」のです。普段はこの強い酒は寝酒にしか飲みませんでした。夏に行つたので黒海に泳ぎに何回か行きましたが、イスラム圏なのに女の子はビキニ姿になつていたり、中東のイスラム圏とはまったく別で帰国の時には「ベリーダンス」を見



る事が出来ました。トルコは親日家が多くいるのですが、大きな理由は黒海の奥手の方にはロシアの地があり、そこに海軍基地がありイスタンブールを挟んでボラポリス海峡があり、そこをロシア艦船が行き来する所で公海となつている。それを見るトルコの人達は苦々しく思つていて、日本海での日露戦争では日本が艦隊を潰し、それと四国沖で難破した船員を助けた「日本」という事でトルコは日本びいきが強いようです。私たちは観光地がない黒海なので通訳の案内で路線バスに乗りゾングルダックという街に1時間半をかけて行き、いろいろ案内された中で通訳の話では（当時21年前）この街はトルコの軍港があり、飾窓があつたということでした。

出張のたびにトランクにいっぱい食べ物を入れて行つたが、「米」は入れず、このエレリーの街で「米」を買つて食べたのですが、それがアメリカ産の「カリフォルニア米」だつたのですが、日本の「米」と変らずにおいしかったのには驚いた。買い物は賑やかな街中で革ジャンを買つてたしか3万円ぐらいしたので、消費税10%3千円を請求されて「何と10%の消費税が取られるとは」と驚いた。それと、今行われようとして

いるTPPで「米」が自由化になつたら、安いカリフォルニア米には完全に日本の「米」はかなわないと思ひます。

役員 小川 務

東あやせ薬局に新しい仲間が二人増えました。まず一人目は、

蒲原グループ職員・東あやせ薬局 鈴木良子さん、水島佳代子さん

今年5月へいわ橋薬局から来た鈴木良子さんです。生まれは三重県伊勢で話題になつた伊勢神宮に深くかかわつています。ぜひ伊勢神宮のことは、彼女に聞いて下さい。趣味はダンス。ダンス歴は十年とか。スタイルの良さはこのダンスのせいでしょう。住まいはへいわ橋薬局近くなので通勤は大変そうです。今、毎日亀有駅から歩いて通つて

います。お気に入りの店も見つけたようです。明るくて、くつたくなのいしやべりで皆様の質問に答えてくれます。

二人目は、8月にちぐさ薬局から来た水島佳代子さんです。薬局長として赴任してきました。大学卒業から今までメデックス一本で働いています。どこかで見かけたという方もいらしゃるのではないのでしょうか。生まれ



は新潟県長岡で三人兄弟の末っ子だそうです。新潟と言えば米どころ、毎日お弁当をもって世田谷から通勤しています。日本の荒波、雪できたえられたのでしょう。もの静かな中にも強さがあります。

まだ、数ヶ月しかたつていないので、慣れていなくてとか、患者様の顔と名前が一致しないとか・・・いろいろ本人達は思っているようですが仕事はパツチリです。

窓口であつたら彼女たちの魅力を見つけて下さい。宜しくお願ひします。

紹介 東あやせ薬局 成安 恵子



「いつでも元氣」民医連と友の会の機関誌で月380円です。ご購入して下さい。